


様式第4号（第5条関係）

平成30年3月31日

古賀市議会議長

議員名 村松 謙二 

平成29年度政務活動費収支報告について

古賀市議会政務活動費の交付に関する条例第6条第1項に基づき、別紙のとおり政務活動費収支報告書を提出します。

1 平成29年度政務活動費収支報告書

2 添付書類

- (1) 政務活動費収支報告書（別紙1）
- (2) 政務活動費支出内訳書（別紙2）
- (3) 領収書又はこれに準ずる書類

別紙1

平成29年度政務活動費収支報告書

議員名 村松 謙二

1 収 入

政務活動費 120,000円

2 支 出

項 目	金 額 (円)	支出内訳書の番号
調査研究費		
研 修 費	107,320	2、3、4、5
広 報 費	45,068	1
広 聴 費	1,000	8
資料作成費		
資料購入費	8,400	6
事 務 費	2,600	7
支出合計	164,388	

3 残額 △44,388円

## 別紙2

## 平成29年度政務活動費支出内訳書

番号	期 間	内 容	経費 (円)	備考
1	平成29年5月 平成29年11月 平成30年2月	「ニュースレター」 発行3回	45,068	広報費 (資料添付)
2	平成29年4月6日	「役所を動かす質問 の仕方」 議員研修	15,000	研修費 (報告書添付)
3	平成29年7月6日	「決算審査のアプロ ーチ」 議員研修2講座	31,500	研修費 (報告書添付)
4	平成30年2月7日	「財政の質問のポイ ント」 議員研修2日間	55,820	研修費 (報告書添付)
5	平成29年10月26日	森林・林業・林産業 活性化九州大会	5,000	研修費 (報告書添付)
6	平成29年4月分～ 平成30年3月分	機関紙購読料	8,400	資料購入費 (社会新報)
7	平成29年4月10日～ 平成29年12月5日	コピー代	2,600	事務費
8	平成29年4月22日	公共交通を考える会 市民へ広聴	1,000	広聴費 (報告書添付)

※研修及び視察には報告書を添付のこと

番号 / - /

領収書



日付: 2017年5月20日  
領収書番号: R-1705194608

村松 謙二 御中

ラクスル株式会

〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-9 アイケイビル 1F  
tel: 03-4577-9200 mail: contact@raksul.com

¥13,910-

但し 商品代として  
上記金額を正に受領いたしました。

ご注文番号	商品名 / 商品仕様	部数	出荷日	金額
1705194608-01	チラシ・フライ ヤー,A3,両面カ ラー,光沢紙(コー ト),標準:90kg,折 り加工:2つ折り(セ ンター折り)	2,500部	2017年 5月28日	¥12,880

注文内容:	商品:	¥12,880
注文合計:		¥12,880
消費税:		¥1,030
ご請求合計金額:		¥13,910
お支払い方法:		コンビニ支払い

番号1-2

領収書



日付: 2017年11月16日  
領収書番号: R-1711081220

村松 謙二 御中

ラクスル株式会社

〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-9 アイケイビル 1F  
tel: 03-4577-9200 mail: contact@raksul.com

**¥13,910-**

但し 商品代として  
上記金額を正に受領いたしました。

ご注文番号	商品名 / 商品仕様	部数	出荷日	金額
1711081220-01	チラシ・フライ ヤー,A3,両面カ ラー,光沢紙(コー ト),標準: 90kg,折 り加工: 2つ折り(セ ンター折り)	2,500部	2017年 11月16日	¥12,880

注文内容:	商品:	¥12,880
注文合計:		¥12,880
消費税:		¥1,030
ご請求合計金額:		¥13,910

お支払い方法: クレジットカード

番号 1-3

領収書



日付: 2018年2月02日  
領収書番号: R-1801296339

村松 謙二 御中

ラクスル株式会社

〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-9 アイケイビル 1F  
tel: 03-4577-9200 mail: contact@raksul.com

¥17,248-

但し 商品代として  
上記金額を正に受領いたしました。

ご注文番号	商品名 / 商品仕様	部数	出荷日	金額
1801296339-01	チラシ・フライ ヤー,A3,両面カ ラー,光沢紙(コー ト),標準:90kg,折 り加工:2つ折り(セ ンター折り)	3,500部	2018年 2月2日	¥15,970

注文内容:	商品:	¥15,970
注文合計:		¥15,970
消費税:		¥1,278
ご請求合計金額:		¥17,248

お支払い方法: クレジットカード

番号2

領 収 証

村松謙二 様 29年4月6日

★ ￥15,000

但「役所を動かす質問の仕方」  
4/6 10:00～ 研修会受講代として  
上記正に領収いたしました

一般社団法人地方議員研  
〒532-0004  
大阪市淀川区西宮原2丁目  
TEL 06 (7878) 6297

番号3

領 収 証

村松謙二 様 29年7月6日

★ ￥30,000

但 7/6 10:00～「決算審査のアプローチ1」、  
7/6 14:00～「決算審査のアプローチ2」  
2講座 研修会受講代として  
上記正に領収いたしました

一般社団法人地方議員研  
〒532-0004  
大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639  
TEL 06 (7878) 6297

領収書

車室 No.5

入庫時刻 07月06日 09時45分  
精算時刻 07月06日 16時32分

受領金額 1500円  
2017年07月06日16時33分 発行

駅東1丁目パーク

番号 4-1

「財政の質問のポイント」イン京都」研修 領収書内訳

村松謙二

- 日時：平成 30 年 2 月 7 日
- 目的地：京都市下京区 メルパルク京都
- 行程：行き JR 古賀駅→JR 博多駅→JR 京都駅 徒歩 →メルパルク京都  
 帰り メルパルク京都 徒歩→JR 京都→JR 博多駅→JR 古賀駅
- 料金：新幹線はエクスプレス予約券を使用

□乗車金額 新幹線 博多⇄京都 12.340 円×2(往復)=24.680 円 (クレジット)  
 在来線 古賀→博多 370 円×2 (往復) =740 円 (現金)  
 駐車場代 ニビシ古賀駅パーキング 終日 400 円 (現金)

交通旅費合計 24.680 + 740 + 400 = 25.820 円

研修受講費 2 講座 15.000 円×2 = 30.000 円

領 収 証

村松謙二 様

30 年 2 月 7 日

★ ¥30,000

但 2/7

「財政課長、財政部長経験者が語る財政の質問のポイント in 京都」  
2 講座 研修会受講代として

上記正に領収いたしました

一般社団法人地方議員研究会

〒532-0004

大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639

TEL 06 (7878) 6297



タイムズ24株式会社  
古賀駅前駐車場

0120-70-8924

18-02-07 1-0006  
06:10

精算02-07 20:17  
駐車時間 14時間 7分  
駐車料金 400円  
割引 0円

領収書  
前払 0円  
現金 400円  
釣銭 0円

NO. 072627

収 書 No.064391

村松謙二 様

ご利用金額 ¥740- (現金利用)

上記の金額を領収しました。

購入商品 JR乗車券類等

年月日 2018年 2月 7日

九州旅客鉄道株式会社  
古賀駅 POS001 発行

博多-古賀 往復  
乗車券



番号4-2

お客様控  
 エクスプレス予約/スマートEX  
 領収書 R981  
 購入日 2018年 1月 24日  
 引渡枚数計 2枚  
 お預り番号 2042  
 利用金額 ¥24,680  
 引渡日 1月 31日  
 博多 博多 博多  
 利用区間 京都 博多  
 列車名・券種  
 2月 7日 のぞみ41号

私戻はJR東海又はJR西日本の窓口でお取扱いします。

博多駅MV954 処理番号 2336 EX37191010801190 西日本旅客鉄道株式会社

伊東議員と  
同行旅券写し

西〇〇 EX予約(早特)  
 乗車券・新幹線特急券  
 (企)395 \*\*\*\*\*

京都 → 博多  
 2月 7日 (16:50発) (19:33着)  
 のぞみ41号 全席禁煙 5号車17番E席  
 ¥12,340 特5,120

☆在来線乗車不可 ☆ 乗車変更不可  
 下車前送無効 乗継割引適用不可  
 30.-1.2割EX予約037(4-タ)  
 指定列車・座席以外乗車不可

西〇〇 EX予約(早特)  
 乗車券・新幹線特急券  
 (企)395 \*\*\*\*\*

京都 → 博多  
 2月 7日 (16:50発) (19:33着)  
 のぞみ41号 全席禁煙 5号車17番D席  
 ¥12,340 特5,120

☆在来線乗車不可 ☆ 乗車変更不可  
 下車前送無効 乗継割引適用不可  
 30.-1.2割EX予約037(4-タ)  
 指定列車・座席以外乗車不可

お客様控  
 エクスプレス予約/スマートEX  
 領収書 R981  
 購入日 2018年 1月 24日  
 引渡枚数計 2枚  
 お預り番号 2041  
 利用金額 ¥24,680  
 引渡日 1月 31日  
 博多 博多 博多  
 利用区間 京都 博多  
 列車名・券種  
 2月 7日 のぞみ6号

私戻はJR東海又はJR西日本の窓口でお取扱いします。

博多駅MV954 処理番号 2336 EX37191010801190 西日本旅客鉄道株式会社

西〇〇 EX予約(早特)  
 乗車券・新幹線特急券  
 (企)395 \*\*\*\*\*

博多 → 京都  
 2月 7日 (7:10発) (9:54着)  
 のぞみ6号 全席禁煙 6号車2番E席  
 ¥12,340 特5,120

☆在来線乗車不可 ☆ 乗車変更不可  
 下車前送無効 乗継割引適用不可  
 30.-1.2割EX予約031(4-タ)  
 指定列車・座席以外乗車不可

西〇〇 EX予約(早特)  
 乗車券・新幹線特急券  
 (企)395 \*\*\*\*\*

博多 → 京都  
 2月 7日 (7:10発) (9:54着)  
 のぞみ6号 全席禁煙 6号車2番D席  
 ¥12,340 特5,120

☆在来線乗車不可 ☆ 乗車変更不可  
 下車前送無効 乗継割引適用不可  
 30.-1.2割EX予約031(4-タ)  
 指定列車・座席以外乗車不可

森林・林業・林産業活性化九州大会

出発日 平成 29 年 10 月 26 日 (木)

目的地 大分県大分市 ホルトホール

行程 行き 古賀市 JR 古賀駅 → 博多駅ソニック 9 号 → JR 大分駅着  
 09:01 発 11:06 着  
 帰り JR 大分駅ソニック 48 号 → 博多駅 → JR 古賀駅  
 16:45 発 19:00 着

料金 ネット予約の早割を使用

片道金額 運賃 1,830 円 — ②、③

特急料金 670 円

小計 2,500 円 × 2 = 5,000 円

博多駅から大分駅までの往復料金 1 人あたり 5,000 円

計 5,000 円

添付

博多駅から大分駅までの往復料金 5 人分の領収書 25,000 円 — ①

参加者 村松謙二、田中英輔、古賀誠視、伊東洋子、内場恭子 5 人分

※ 領収書原本は村松謙二が保管しています。

①

領 収 書 No.063593

村松 謙 二 様

ご利用金額 ¥25,000- (現金利用)  
 上記の金額を領収しました。 5人分

購入商品 JR 乗車券類  
 年月日 2017年10月24日

九州旅客鉄道株式会社  
 古賀駅 POS001 発行

②

JR九州ネット予約 【九州ネット早特】

**C制** 企画乗車券 \*\*\*\*\*  
 (企)655-.....0000

博 多 → 大 分

經由: 鹿兒島線・日豊  
 10月26日から10月27日まで有効  
 ¥1,830 R773  
 利用・払戻には同時発券のB券が必要 5割  
 下車前途無効  
 変更や払戻には制限があります C10  
 29.10.22 予約センター75 (6-) 43056-07  
 29.10.24 古賀駅-R 60125-07

JR九州ネット予約 【九州ネット早特】 A

**C制** 企画乗車券 \*\*\*\*\*  
 (企)655-.....0000

大 分 → 博 多

經由: 日豊・鹿兒島線  
 10月26日から10月27日まで有効  
 ¥1,830 R781  
 利用・払戻には同時発券のB券が必要 5割  
 下車前途無効  
 変更や払戻には制限があります C10  
 29.10.22 予約センター71 (6-) 33083-08  
 29.10.24 古賀駅-R 20128-08

番号 6

機関紙購読料 領収書

村松謙二

平成 29 年 4 月分から平成 30 年 3 月分まで

社会新報 購読代金 8.400 円

社 会 新 報

No. 領 収 証

村松 様

ご購入ありがとうございます

¥ 8,400 -

社会新報	2017/4 ~ 2018/3	月分 等	8,400 -
月刊社会民主		月分 等	
		月分 等	

上記代金として領収致しました

社会民主党機関紙宣伝局 2018 年 1 月 30 日

分局名 社会新報箱屋総分

コピー代

番号 7-1

平成 28 年度

平成 29 年度

古賀市

古賀市

納付書兼領収書			
納付者	[Redacted]		
	村松 謙二 様		
会計	01 一般会計		
款 21	項 04	目 04	節 01 細節 01 細々節
金額	840 円		
内容	3月分議員コピー使用料		
担当課	800000 議会事務局		
納期限	平成 29 年 3 月 31 日		
発行日	左を参照してください。		
納付場所	上記の金額を納期限までに納入してください。		
古賀市役所 古賀市長 中村 隆象			
取りまとめ店：福岡銀行 古賀支店			
上記金額を領収しました。	領収日付印		
この領収書は収納場所の領収印によってその効力を生じます。	[Redacted] 29. 4. 10 [Redacted]		

(納入者保管)

納付書兼領収書			
納付者	[Redacted]		
	村松 謙二 様		
会計	01 一般会計		
款 21	項 04	目 04	節 01 細節 01 細々節
金額	120 円		
内容	4月分議員コピー使用料		
担当課	800000 議会事務局		
納期限	平成 29 年 5 月 1 日		
発行日	左を参照してください。		
納付場所	上記の金額を納期限までに納入してください。		
古賀市役所 古賀市長 中村 隆象			
取りまとめ店：福岡銀行 古賀支店			
上記金額を領収しました。	領収日付印		
この領収書は収納場所の領収印によってその効力を生じます。	[Redacted] 29. 5. 17 [Redacted]		

(納入者保管)

コピー代

番号 7-2

平成 29 年度

平成 29 年度

古賀市

古賀市

### 納付書兼領収書

### 納付書兼領収書

納付者

村松 謙二

様

納付者

村松 謙二

様

会計 01 一般会計

会計 01 一般会計

款 21 項 04 目 04 節 01 細節 01 細々節

款 21 項 04 目 04 節 01 細節 01 細々節

金額 140 円

金額 30 円

内容 5月分議員コピー使用料

内容 6月分議員コピー使用料

担当課 800000 議会事務局

担当課 800000 議会事務局

納期限

納期限

発行日 平成 29 年 6 月 1 日

発行日 平成 29 年 7 月 3 日

納付場所 左を参照してください。

納付場所 左を参照してください。

上記の金額を納期限までに納入してください。

上記の金額を納期限までに納入してください。

古賀市役所  
古賀市長 中村 隆象

古賀市役所  
古賀市長 中村 隆象

取りまとめ店：福岡銀行 古賀支店

取りまとめ店：福岡銀行 古賀支店

上記金額を領収しました。

上記金額を領収しました。

この領収書は収納場所の領収印によってその効力を生じます。

この領収書は収納場所の領収印によってその効力を生じます。

領収日付印

29. 6. 5

領収日付印

29. 7. 12

(納入者保管)

(納入者保管)

コピー代

番号 7-3

平成 29 年度

古賀市

### 納付書兼領収書

納付者	[Redacted]		
	村松 謙二 様		
会計	01 一般会計		
款 21	項 04	目 04	節 01 細節 01 細々節
金額	1,040 円		
内容	9月分議員コピー使用料		
担当課	800000 議会事務局		
納期限	発行日 平成 29年 10月 5日		
納付場所	左を参照してください。		
上記の金額を納期限までに納入してください。			
古賀市役所 古賀市長 中村 隆象			
取りまとめ店：福岡銀行 古賀支店			
上記金額を領収しました。	領収日付印 [Redacted] 29.10.11 [Redacted]		
この領収書は収納場所の領収印によってその効力を生じます。			

(納入者保管)

### 領収証書

No. 235

村松 謙二 様

金額 130 円也

但し、コピー代として

上記の金額を領収しました。

領収印



出納員  
古賀市役所総務部総務課長

平成 29 年度

古賀市

### 納付書兼領収書

納付者	[Redacted] - 4		
	村松 謙二 様		
会計	01 一般会計		
款 21	項 04	目 04	節 01 細節 01 細々節
金額	120 円		
内容	10月分議員コピー使用料		
担当課	800000 議会事務局		
納期限	発行日 平成 29年 11月 1日		
納付場所	左を参照してください。		
上記の金額を納期限までに納入してください。			
古賀市役所 古賀市長 中村 隆象			
取りまとめ店：福岡銀行 古賀支店			
上記金額を領収しました。	領収日付印 [Redacted] 29.11.10 [Redacted]		
この領収書は収納場所の領収印によってその効力を生じます。			

(納入者保管)

コピー代

番号 7-4

領 収 証 書	
No. <u>241</u>	村松 謙二 様
金額 <u>140</u> 円也	
但し、印刷マスター代として	
上記の金額を領収しました。	領収印 [Redacted]
出納員 古賀市役所総務部総務課長	29.11.30 [Redacted]

平成 29 年度

古賀市

納 付 書 兼 領 収 書					
納 付 者	[Redacted]				
	村松 謙二 様				
会計		01 一般会計			
款 21	項 04	目 04	節 01	細節 01	細々節
金額					40 円
内容 11月分議員コピー使用料					
担当課		800000 議会事務局			
納期限 発行日 平成 29年 12月 1日 納付場所 左を参照してください。 上記の金額を納期限までに納入してください。					
古賀市役所 古賀市長 中村 隆象					
取りまとめ店：福岡銀行 古賀支店					
上記金額を領収しました。  この領収書は収納場所の領収 印によってその効力を生じます。					領収日付印 [Redacted] 29.12.5 [Redacted]

(納入者保管)

番号 8

公共交通機関を考える会

平成29年4月22日(土)

13時から 千鳥苑大広間

- ・ 会場費 6,000円を 田中英輔議員、古賀誠視議員、伊東洋子議員、奴間健司議員、村松謙二議員、内場恭子の6人で分担する。

1 議員あたり 1,000円

- ・ 領収書の原本は、内場恭子が保管しています。

### 古賀市社会福祉センター利用許可書

平成29年4月22日

住所 古賀市

申請者 氏名

内場 恭子

連絡先(電話)

団体名	公共交通を考える会		
利用日時	4月22日 13時00分から17時00分		
利用目的	会議		
人員	人	利用料	6,000 円
利用室等	(室名 )、大広間、ゲートボールコート		

上記のとおり許可します。 平成29年4月22日

- ※ 使用にあたっては、規則を厳守すること。
- ※ 違反のありうるときは、使用を拒否します。

古賀市社会福祉センター所長

領 収 書 № 000087

公共交通を考える会 様

一金 6000 円也

上記のとおり領収致しました。

平成29年4月22日

古賀市社会福祉センター

福岡県古賀市千鳥三丁目3  
TEL・FAX 092-943-2



### 剪定枝を回収（チップ化し土壌改良材へ）



舞の里4・5丁目環境対策委員会は、「燃やすごみを減らすため、自分たちで出ることから始めよう」と剪定枝回収をしています。写真は5月6日（土）の様子  
回収場所は、舞の里小学校です。私も住民ボランティアとして車の誘導やパークカーへの積み込みの手伝いをしています。次回は6月3日（土）です。

### 私の政務活動費の報告（平成28年度）

古賀市議会議員には、調査研究に役立てるために必要な経費の一部として、月1万円、年間12万円の政務活動費が交付されます。  
政務活動費を活用した議員は、領収書（1円から）等を添付して実績報告を提出することになります。  
各議員の報告と領収書のすべては、市議会ホームページまたは議会事務局で閲覧できます。残額は返還します。

\*研修費には、旅費交通費も含まれます

以下は、私の政務活動費の使い道の内容です

- ・自治体財政の見方（大津市）⇒ 地方自治体の財政運営と議員の役割を学びました。
- ・地方公共交通総合研究所主催のフォーラムに参加（岡山市）⇒ 他自治体の事例を学びと共に古賀市における公共交通のあり方へどう生かすかなどの政策研修を受講しました。
- ・議会改革を考える議員研修会に参加（大津市）⇒ 情報公開や住民参加を積極的に実施している先進地の議会を学びました。
- ・議会や委員会での質疑やとり向上研修に参加（福岡市）⇒ 質問準備のその前にやるべきことや役所を動かす質問の仕方などを学びました。

項目	金額（円）
研修費	131,970
広報費	27,389
資料購入費	9,800
事務費	7,942
支出合計	177,101
活動費支給	120,000
自費	-57,101



1955年：飯塚市で8人兄弟の末っ子（4男4女）として生まれる。

1973年：福岡県立筑豊工業高校 電気科卒業

1973年：シャープ株式会社 入社

1990年：京セラ株式会社 入社

2010年：同社 九州営業統括所長

2014年9月：同社 退職

2015年4月：古賀市議会議員選挙 初当選 現在1期目

私のプロフィール

# 第10号 むらまつ けんじ ニュースレター

発行：2017年5月  
第3巻 第10号



住所：古賀市舞の里4-27-4  
携帯：090-6295-6060

Eメールは [kokyusyumura83210@gmail.com](mailto:kokyusyumura83210@gmail.com)

私は、5月で市議会議員として当選してから、まる2年を経過致しました。議会活動では、古賀市の課題や問題点を提起し、その改善方法や解決の道筋を示すため、これまで1回も欠かさず（2年間で8回）一般質問を行い、所属している総務委員会では、所管の議案を審議したり、行政・各課各係からの報告を受けた後に、その事業が正しく実行されているかなど質疑や提言などを行ってまいりました。

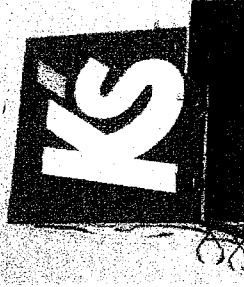
心がけているのは、市民の目線でわかりやすく、地域に密着した情報発信と市の課題などをニュースレターで報告、お伝えすることと考えています。ご意見やご要望などがございましたら、上記連絡先の携帯電話かEメール宛ご連絡ください。

### 舞の里地区

着々と進む！建設工事  
わいわいファーム舞の里店 ケースデンキ古賀店

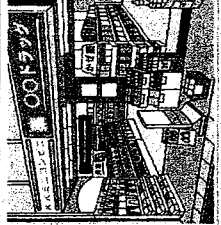
（仮）ケースデンキ古賀店の  
新設日（開店日）は、今秋10月  
23日の予定となっております。  
（\*2017年2月22日時点の届け出に  
よるため、日には前後する可能性が  
あります。）

開店時刻 午前9時00分  
閉店時刻 午後9時00分  
駐車場139台 駐輪場24台



### 高田地区

まもなく着工予定！  
ドラッグストア スポーツジム



ハローデイの開店  
日は11月中旬の  
予定となっております。予定は変更と  
なる可能性があります。  
ます。



中面

### 古賀市の小学生児童数は、地域差が顕著に!

4月12日、舞の里小学校の入学式典に参列させていただいたところ、新1年生の児童数は、わずか2クラスの50人でした。(1クラス25人が2組)  
 そこで、他の小学校の実態を調べるため、学校教育課へ聞き取りを行い、入手した資料を基に平成29年度の各小学校の新入生数グラフを作成しました。

下図に表した棒グラフのように、地域によって新入学生の児童数に差があります。また下段には、古賀市立小学校全体の児童数の過去6年間の推移を紹介しています。

#### 古賀市立小学校 新入生数(平成29年度)

小学校	新入生数
青柳	48
小野	64
東	74
西	94
花鶴	93
花見	53
千鳥	50
舞の里	115

#### 古賀市立小学校 児童生徒数推移

年度	児童生徒数
H24	3,357
H25	3,324
H26	3,284
H27	3,325
H28	3,405
H29	3,447

古賀市学校教育課資料より作成しました

古賀市の少子高齢化傾向(高齢者は増え続けるため)は変わりませんが、市全体の小学生の児童数総数は、平成26年度を底に少しずつ増えてきています。  
 花鶴小は、美明地区の「ししほ駅周辺の住居開発」により、比較的若い世帯が多く生活するようになったことで、この地域の児童が通うことが要因と考えられます。

子育て世代の30代~40代が住みたくなくなる政策が必要で、具体的には低廉で良質な住環境の環境整備を行うことが必要になってくるのではないのでしょうか。

そこで県の人口移動(転出・転入)統計を分析すると古賀市から新宮町や福津市などのJR駅前を開発した地域へ転居している実態が見られます。

不動産屋の語によると「最近の若い世代は築後5年未満で住宅設備が新しい物件を採す傾向があるように思う」とのことです。

子育て世代に低廉な賃貸・分譲住宅を供給する政策はどうでしょうか。

### 西鉄路線バス 4月1日から平日7便 減便へ

市内を走る西鉄路線バスが4月1日から平日98便から91便に減便しました。古賀市の公共交通政策は、市民の要望が多かった「増便」や「路線の見直し」に逆行しています。

そこで古賀市議会は、減便の影響を早い時期に極力回避すること、もしくは代替する措置を講じることとを求め「決議」を賛成多数(10:8)で可決しました。しかし決議は拘束力がありませんので、市長が議会の決議をどのように重く受け止めるか、市民が利用しやすい交通政策を早急に実施するかの決断にかかります。この課題は、特に高齢化率が高い東部地区(国道3号線より山手方面)で切実な声が寄せられています。私はずれ市内全域でも高齢率が上昇していきま

### 例えば、薦野地区(徳久団地)の住民がサンリア古賀で買い物をする場合

(薦野→古賀駅方面)

サンリア古賀でお買い物をしようと

徳久団地前(2100)から乗車(2100)2分  
 古賀駅に到着 (12:20着)

(古賀駅東口→薦野方面)

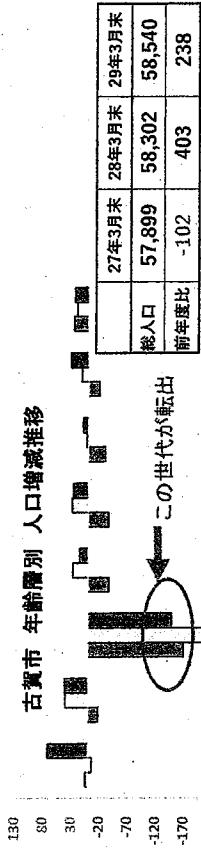
自宅へ帰ろうと古賀駅東口バス停へ行くとなんと  
 6:53まで並んで並ヶ丘団地行きバス便がありません。  
 つまりこの間、約4時間半も帰りのバス便がないのです。

結局、自宅近くの並ヶ丘団地前に到着したのは  
 7:08でした。

これでは買い物や通院も丸1日がかかりとなります!  
 私は対策として、補完的に循環型バスを導入し、近い将来は福津市や新宮町のようにコミュニティバスの運営も検討すべきと考えます)

### 古賀市の人口動態と人口構成で課題が浮き彫りに

古賀市の人口推移は、この2年間は微増傾向ですが、人口の転入転出を調べると古賀市の課題が見えてきました。わかりやすくするために「福岡県人口動態データ」を基にグラフを作りましたのでご覧ください。



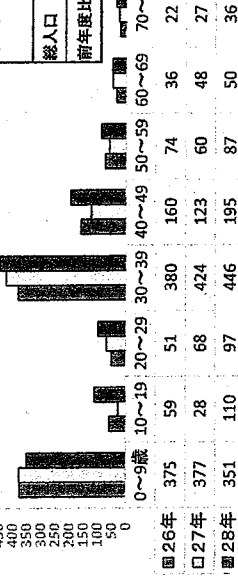
年齢	2016年	2017年	2018年
0~9歳	4	-7	71
10~19歳	-18	40	41
20~29歳	-170	-208	-149
30~39歳	-37	27	15
40~49歳	-36	28	26
50~59歳	-30	2	9
60~69歳	-20	11	31
70~	26	20	24

### 新宮町 年齢層別 人口増減推移



新宮町・福津市は  
どの年齢層も純増

### 福津市 年齢層別 人口増減推移



福岡都市圏という立地が共通の福津市や新宮町と比較すると、古賀市の特徴は20歳代（20歳～29歳）の若者たちが多く転出しています。福津市や新宮町の大規模な駅前開発による影響はありますが、これからの古賀市の発展を考える上で、早急に取り組まなければならない課題だと思えます。

# 第11号 むらまつけんじ ニュースレター

発行：2017年11月  
第3巻 第11号

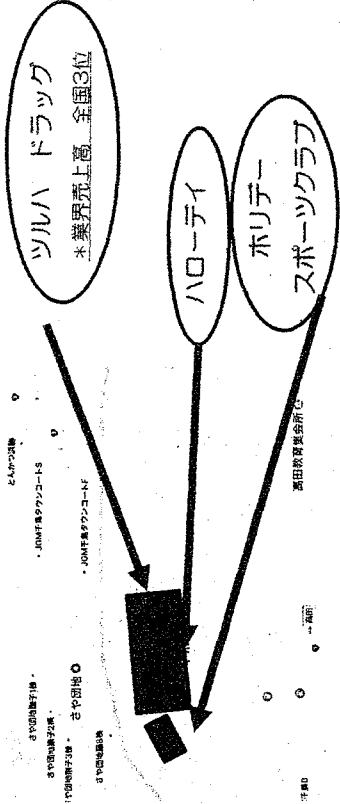
住所：古賀市舞の里4-27-4  
携帯：090-6296-6060

Eメールは [kckyusyumura83210@gmail.com](mailto:kckyusyumura83210@gmail.com)

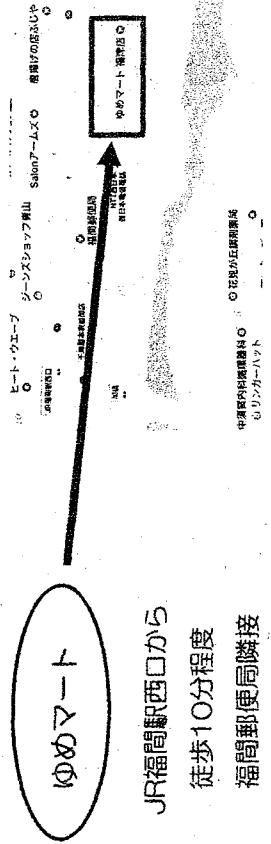
今号は、市内各所で新たに新店計画があるスポーツ施設、ドラッグストア、暮らしに便利なスーパー、ドライブイン、ガソリンスタンドなど出店情報を皆さんと共有し、さらに最新の市政情報をお伝えいたします。

むらまつけんじニュースレターは、見やすくわかりやすく、地域に密着した情報発信と市の課題などをお伝えし、日々の暮らしの諸問題を解決していく提案を致します。そのためには、市民のみなさんからのご意見やご要望が重要と考えます。どうぞお気軽に上記の携帯電話かEメールまでご連絡ください。

11月下旬に「ハローテイ」と隣接するドラッグストア「ツルハ」がOPEN予定  
2018年1月4日には、「ホリテースポーツクラブ」がOPEN予定



2018年1月ごろ「仮称ゆめマート福津」がOPEN予定



ゆめマート  
JR福岡駅西口から  
徒歩10分程度  
福岡郵便局隣接

中面

国道3号線 庄交差点沿いに  
カンリンスタンドの相光石油が11月末OPEN予定

サンコスモ古賀  
相光石油

古賀中学校  
古賀市役所古賀市保健福祉総合センター  
かい整形外科医院  
セジューリヤ  
かみ美容クリニック  
水戸屋長成  
ベリコシナイローカル店

企業誘致を目的に工業団地造成 玄望園地区へ

工業団地予定地 約8万坪  
(自動車産業や物流関連施設用地)

古賀清掃工場

将来は九州自動車道「古賀サービスエリア」からの出入りが可能なスマートインターチェンジの設置も検討中です

企業誘致に関する業務代行業者は(株)日本エスコンが行います。

千鳥駅東口(舞の里側)の駅前広場は、どうなった?  
市と地権者との関係が良好とは言えず、めどがたっていない。

古賀駅東口の再開発問題は?  
古賀市とUR都市機構が基本協定を締結しました。  
しかし駅周辺工場の移転問題を含め、先行きは不透明です。

提言が実現

高田地区から舞の里4区に通じる坂道の植栽  
市民の声がきっかけで撤去が実現しました

背丈を超えるほどに伸び放題の植栽  
見通しが悪く、安全とは言えない状態でした  
市民からの要望を受け私は建設課に提言を致しました。

その結果、「毎年良く伸びるので、剪定が追いつかない」「毛虫が沢山つく」などの理由で10月にきれいに撤去されました。  
市民の声が行政を動かした事例です

10月20日撮影

新たな課題

公共施設の身障者用駐車場に屋根の設置を

障がい者にとって、車はとても重要な屋外での移動手段の1つです。  
例えば、JR古賀駅東口駐車場には、車いすマークがある障がい者専用駐車スペースが確保されていますが、雨が降っているときは、屋根がないために濡れながら乗降車しなければなりません。私はこの課題解決に取り組みます。

# 12月の一般質問（1回も欠かさず11回連続）テーマは「公共施設の身障者用駐車場に屋根の設置を」

ふくとびあ福津

JR福岡駅東口

福津市役所前



福津市



古賀市



サンコスモ古賀

JR古賀駅東口

古賀市役所前

障がいのある方にとって、車はとても重要な屋外での移動手段の1つです。しかし、JR古賀駅東口駐車場には、車いすマークがある身障者用駐車スペースが確保されていますが、「雨が降っているときは、屋根がないために濡れながら乗降車しなければならぬ」と市民から相談がありました。

そこで私は、人口規模がほぼ同じである福津市の実態を調べてみました。福津市はほとんどどの公共施設の身障者用駐車場に屋根が設置されていました。なぜ福津市は出来て、古賀市は出来ないか。調べて分かったことは、福津市は「ユニバーサルデザイン計画」を策定し、この計画に基づいて“まちづくりの整備”を行ったとのこと。この実態を一般質問で問うと、中村市長の答弁は「福岡県の福祉のまちづくり条例には、車いす使用者駐車場に屋根の設置は整備基準になっていない」と県の条例に設置義務がないことを理由にしています。しかし福津市は主体的に「市民にやさしいまちづくり」に取り組んでいます。私は引き続き、この課題解決に取り組んでまいります。

討論資料

# 第12号

## むらまつ けんじ ニュースレター

発行：2018年2月  
第3巻 第12号



住所：古賀市舞の里4-27-4  
携帯：090-6295-6060  
Eメールは [kckyusyumura83210@gmail.com](mailto:kckyusyumura83210@gmail.com)

立春は過ぎましたが、この冬は例年以上に厳しい寒さが続いていますね。体調の管理には十分気をつけてお過ごしください。  
さて、昨年12月に古賀市議会・第4回定例会が行われ、暮らしに関わる議案などが審議されましたので、議会情報と市政情報を報告いたします。

私は地域に密着した情報発信と市の課題などをわかりやすくお伝えし、暮らしの諸問題を解決していく提案を行っています。そのためには市民のみならずからのご意見や要望などをお伺いすることが何よりも重要と想いますので、どうぞ上記の携帯電話かEメールまでご連絡いただければ幸いです。

12月定例会の主な審議は、高齢者と子育て支援を重点に配分された「平成29年度一般会計補正予算」を7億2318万円の追加で可決しました。一方、公共下水道使用料金が値上げになる議案が賛成多数で可決され、今年10月から実施される予定です。

### 私のプロフィール

昭和30年（1955年）1月、飯塚市（旧嘉穂郡頼田町）で、8人兄弟（4男4女）の末っ子として生まれ、幼少から高校まで鞍手郡小竹町で過ごす。  
昭和48年（1973年）3月、県立筑豊工業高等学校・電気科を卒業後、大阪市のシャープ（株）に就職。  
平成2年（1990年）3月、京セラ（株）に入社、携帯通信機器事業に関わる。京セラ創業者・稲盛和夫氏のアメリカ経営や京セラファイロソフィを仕事を通して学ぶ。  
平成22年（2010年）4月、京セラ（株）九州営業統括所長を拝命。  
平成26年（2014年）9月、市議会議員にチャレンジのため京セラ退職。  
平成27年（2015年）4月、市議選に立候補、当選1期目。



# 10月から公共下水道料金が

## 値上げになります。

市政時報

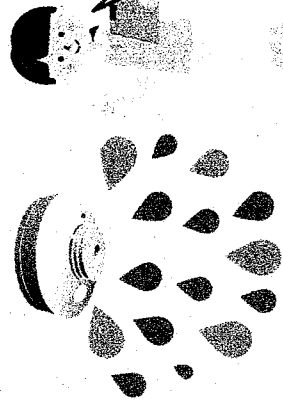
### 市から値上げの提案理由

- ①現在、使用料でまかなうべき経費（使用料対象経費）の一部を一般会計からの基準外繰入金に依存し経営を行っている。
- ②審議会より出された「下水道使用料金改定により、年間1,000万円、3年間で約3千万円の資本分赤字削減の努力を求め」ことを検証した結果、現行使用料と比べ7.7%の増額改定が必要である。

### 私は値上げ案に反対しました。その理由は

- ①1か月の使用量が8m<sup>3</sup>までの料金が1000円から1078円になるが、定額制に変わりがなく、少量使用者（高齢者世帯）などが負担軽減となる料金体系に改められていない。
- ②安易に市民に負担を求めるのではなく、まずは経営努力（経費削減や業務の改善や見直しなどをしたのか）が先決ではないか。コスト削減を図り、料金値上げを最大限回避するような対策が示されていない。責任感が欠如しているのではないか。  
\*平成28年度決算では、古賀市下水道事業は、約1億5千万円の利益を出しています。上水道事業と下水道事業でこのように経営に差がある事実。
- ③市民に負担増を求める議案について、庁議（市長、副市長、教育長など3役と部長以上および主要な課長が出席する会議）では、報告も議論もされていないことが判明しました。  
公共のライフライン（電気・ガス・水道など）は、生活する上で無くてはならないものです。よって料金の変動は、暮らしの家に影響を与えますので、慎重な審議が求められます。  
しかしながら、議会の議決では、賛成15、反対3の賛成多数で、値上げの議案が可決されました。皆さんは、どう思われますか。

- 高齢者  
子育て・児童福祉  
の分野
- ①高齢者施設へ「スプリングラワー」設置補助
  - ②花見光保育園 増改築工事補助



### ①市内の高齢者施設にスプリングラワーを設置

予算：717万4千円（市の負担 実質0）

サービス付き高齢者向け住宅（サ高住）の制度ができた当初は、特費や有料老人ホームとは異なり、スプリングラワーの設置義務は定められていませんでした。しかしその後、スプリングラワーが設置されていない高齢者施設で逃げ遅れて死亡するなどの事故が発生し、基準が見直されました。従来は延べ面積275m<sup>2</sup>以上の場合に設置が必須でしたが、現在の基準では火災発生時に自力で避難することが困難な高齢者などが入居する施設では、原則として施設内の面積にかかわらずスプリングラワーを設置することが義務付けられました。

市内には、対象施設は25施設あり、23施設が設置済、今回は2施設が整備予定。

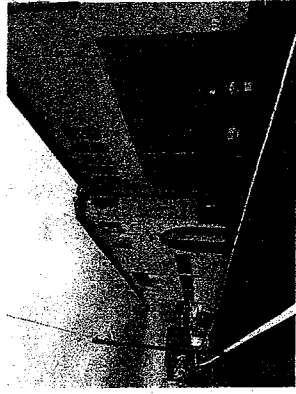
財源は、国の平成29年度予算により、全額補助金で整備されます。

### ②花見光保育園増改築工事

予算：2億6574万2千円

定員が160人から266人へと106人増になる見通しです。

- ①待機児童対応のため0歳児から2歳児の増加
- ②認定こども園に移行するにあたり、3歳児から5歳児の幼稚園部分の増加に対応するため保育園の増改築工事費用をあてるものです。



年齢別 保育予定計画（現状との対比）

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
定員	27	27	27	27	52		160
平成29年12月現在 入所者数	24	47	40	41	46	44	242
整備後の定員	40	42	42	47	47	46	266

参考様式

支出内訳書の番号 2	
研修報告書	
1 名称	「役所を動かす質問の仕方」研修会受講
2 目的	一般質問で市長ら執行部へ課題指摘や提案などをいかに説得ある質問にするために、元副市長の経験者から学ぶ。
3 実施時期	平成29年4月6日
4 実施場所	福岡市博多区 リファレンス駅東ビル
5 参加者	村松謙二
6 その他	報告書添付

平成30年3月31日

村松 謙二

## 研修会報告書

表題の件、以下のとおり報告します。

□期間： 平成29年4月6日（木）

□研修会名：役所を動かす質問の仕方

□研修会主催者： 地方議員研究会

□開催場所：福岡市博多区博多駅東1-16-14

□研修会スケジュール

10:00～12:30 「役所を動かす質問の仕方」

□講師：自治体コンサルタント 川本 達志（元 二日市副市長）

□受講代：研修会 1講座で15,000円（税込）

□研修会の概要 別紙のとおり



### 【研修会参加の理由】

私は、年4回の定例会毎に一般質問を行っています。

質問に臨むテーマは、市民から寄せられる相談および市の課題などを自分なりに選択しているが、課題、責任のありかを指摘しながら最終的に、課題解決に向かう提案が出来ているか甚だ疑問を感じている。また政策提案をいかに市長ら執行部に受け止めてもらい、事業化や次年度予算に反映に結びつけられているか、議員として議会人としてその役割や使命を果たしたいと考えていた時に、今回の「役所を動かす質問の仕方」が開催されるにあたり、議員としての基礎レベル向上を目指すために参加しました。

### 【研修会説明要旨】

- \* 一般質問とは、執行部の政策・施策のあり方の問題点を問い質し、必要な場合は具体的な施策を提案し実行を要請するもの。
- \* 議会活動の中で最も最重要の活動である。
- \* 政策を執行部のマネジメントサイクルに乗せる一つの大きな機会。

# 役所を動かす 質問の仕方

2017.4.6 地方議員研究会(福岡市)

自治体経営コンサルタント 川本達志

参考様式

支出内訳書の番号 3	
研修報告書	
1 名称	「決算審査のアプローチ1」 「決算審査のアプローチ2」の研修会を2講座を受講
2 目的	決算審査の目的や見方、用語の理解を深め、議員として決算審査に臨む知識などを習得する。
3 実施時期	平成29年7月6日
4 実施場所	福岡市博多区 リファレンス駅東ビル
5 参加者	村松謙二
6 その他	報告書添付

平成 30 年 3 月 31 日

研修者 村松 謙二

## 研修会報告書

表題の件、以下のとおり報告します。

- 期間： 平成 29 年 7 月 6 日（木）
- 研修会名：決算審査のアプローチ
- 研修会主催者： 地方議員研究会
- 開催場所：福岡市博多区博多駅東 1 - 1 6 - 4
- 研修会スケジュール
  - 10 : 00 ~ 12 : 30 「決算審査のアプローチ 基礎編」
  - 14 : 00 ~ 16 : 30 「決算審査のアプローチ 応用編」
- 講師：自治体コンサルタント 川本 達志（元 二日市副市長）
- 受講代：研修会 2 講座で 30,000 円（税込）
- 研修会の概要 別紙のとおり

### 【研修会参加の理由】

9月の定例会は、主に前年度の決算について審議し、認定します。

これまでの決算審査では、事前に資料要求した内容を読み込んで疑問の箇所を指摘するためを目的に臨んでいたが、そもそも「決算書とは」という基本的な用語や数字の見方や基準をしっかりと理解していなかった。

議員として最大の仕事である予算・決算の議決を行なう立場としては、市民の付託を受ける資格があるのか常に問答していた中で、今回の機会を知り、行政の副市長を経験された講師の話を受講することはまたとないチャンスと考えます。

議員としての基礎レベルはもちろん、応用についてもしっかりと学び、税金の使われ方が市民の暮らしにどう関わるか、更なる向上を目指すために参加しました。

## 【研修会説明要旨】

\*決算書にある用語の理解

\*決算審査の視点について・・・すべての動きは監査委員の仕事

であるが、下記の①～③は、議員の仕事。

①持続可能な財政状況にあるか。(財政の健全性)

②事業の成果は上がっているか。(施策の効果と改善)

③違法不当な収入・支出はないか。(財務・財産管理・会計処理の  
適正性)

法定の決算資料では、予算書の比較において、予算がどれくらい執行されたかが分かる程度。

### 客観的な財政状況を見る

・財政状況の分析・・・決算カードの活用、活用するには一定の知識が必要。

・中期財政計画・・・市民や議会と市長が基本的な情報と方針を共有するもの。

決算資料の不備は審査を不効率にする

基準 ⇒ 一般の市民が見てもわかる資料



「事業シート」の活用

**まとめ** 決算審査から見直しを始める

決算審査は、評価（チェック）と改善（アクション）の機会

PDCA【（計画（予算）⇒執行⇒評価⇒改善）から

CAPD【評価⇒改善⇒（計画（予算）⇒執行）へ

①持続可能な財政状況にあるか。

- ・客観的なデータで指摘
- ・財政計画を中長期的な視点で

②事業の成果は上がっているか。改善すべき点はないか。

- ・分かりやすい資料で審査に
- ・マネジメントサイクルにビルドイン

③違法不当な収入・支出はないか。財産管理はないか。

- ・随意契約の適法性
- ・施設の再配置計画（除去債活用）

さらに決算カードの見方や、「歳入」では、税収が伸びないという前提で財産管理を徹底する必要がある。税の徴収率のアップの具体策。

「歳出」では、社会保障関連経費の増大。定数管理のあり方。役所事務の生産性の向上。公共施設の再配置計画や指定管理の適正執行など多岐にわたり、決算に向けての知識取得が必要との認識が改めて感じました。



# 決算審査の 下り口一手

《応用編》  
(質問のポイント)

2017.7.6 福岡市

自治体経営コンサルタント

川本達志

# 決算審査の 下り口一手

《基礎編》

2017.7.6 福岡市

自治体経営コンサルタント

川本達志

参考様式

<p>支出内訳書の番号 4</p> <p style="text-align: center;">研修報告書</p>	
1 名称	「財政課長、財政部長経験者が語る財政の質問のポイント イン京都」研修会を2講座受講
2 目的	財政部課長を経験した講師から、地方自治体の財政運営と 議員の役割を学び、議員が財政全般についての理解とその 判断基準を習得する。
3 実施時期	平成30年2月7日
4 実施場所	京都市下京区 メルパルク京都
5 参加者	村松謙二、伊東洋子
6 その他	報告書添付

平成 30 年 3 月 31 日

研修者 村松 謙二

## 研修会報告書

表題の件、以下のとおり報告します。

- 期間： 平成 30 年 2 月 7 日（水）日帰り
- 出席議員：伊東洋子議員（古賀市議会 同僚議員）
- 研修会名：「財政課長、財政部長経験者が語る財政の質問のポイントイン京都」 議員が知っておくべき財政の話 in 京都
- 研修会主催者： 地方議員研究会
- 開催場所：京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町 676 番 13  
メルパルク京都 ホール 4 F
- 研修会スケジュール
  - 10：00～12：30 財政の質問のポイント 基礎編 1
  - 14：00～16：30 財政の質問のポイント 基礎編 2
- 研修会の概要 別紙のとおり

### 【研修会参加の理由】

3月定例会は、主に次年度の予算について審議し議決します。

一昨年3月の定例会に於いて、市議会議員として初めての予算審議を経験し痛感したのは、財政について基本的な考え方や財政担当のスタンスを理解しなければ、市民の暮らしに直接関係する行政施策がどのように実施されるかまた、その効果はどうかのチェックが出来ないというものです。

このたびの「財政課長、財政部長経験者が語る、議員が知っておくべき財政の話」の講座が開催されるにあたり、議員としての基礎レベル向上を目指すために参加しました。

### 【研修会説明要旨】

- まず、秋の予算編成方針を基に長の考え方（スタンス）を聞く。
  - 重要：予算化されるまでのプロセスを知ることによって事業を知り、検証も行える。
  - 日頃から行政職員とのコミュニケーションをとる。
- 議員になったらまず現状を把握する。議員から職員へ質問すると喜ばれるものである。⇒相手は行政のプロ。

○予算要望を各担当課から前年実績を元に財政課に提出されるが、95%は財政課長が決めている。新規拡充は5%で、財政部長が市長公約を元に決めている。市長公約にないものは、市長に上げるが、市長がすべて把握できないので財政部長の説明一つで予算化されるか、されないのかが分かれる。

○市長の選挙公約は重みがある。財政課は、選挙中から市長公約の財政計画を立てており、議員の公約は重みがない。

財政的に実現できることを書くことも必要である。そのために、財政課長と日ごろから情報や意見の交換を行う。

○理事者の予算化の取捨選択の優先順位は、①市長公約、②議員要望、③総合計画等となる。

○市長は、財務に関する権限のほとんどを有しており、予算により自らの政策遂行と政策アピールを行っている。

○所管課長は、評価と昇格を意識して新規・拡充事業をしたいと思っているが、一般職員は、現状の事業に追われているため、新規事業を好まない。

○予算付けは、行政目線は横に置いて市民目線がどうかで、現場の把握を行い、1円たりとも無駄にしない視点で要望や政策を判断す

ること。しかし、市民の声や、要望現場の実態は、議員の方が職員より詳しいことが多い。

○議員は、予算と決算しか質問をしないが、年度途中の進行把握をすることが大事である。重点項目の進行について質問する機会を設けることが必要である。

○財政担当のスタンスとして、一律カットとマイナスシーリングはあるが、行政評価を積極的に活用している。

○提案型の質問は、調査研究しますとの答弁がほとんどとなる。質問後のフォローを続けておかなければ何も進まないことが多い。

○財政のことを質問する場合、相当な知識が必要となる。わからないで聞いていると知識のレベルがバレてしまい恥をかくことになる。財政課長とよく話しておくことが必要である。

○議論がかみ合わない質問がよくある。事前に所管課職員とよく調整をしておくことでよい答弁となる。質問ヒヤリングの数週間前であれば少しでも実現可能な質問となるように内容も変更可能である。

○一般質問や予算要望していても所管課から財政課に上げていなければ予算化されない。

所管課を納得させるための材料をどれだけ用意できるかによる。それにより、財政課に予算を上げやすくなる。

○予算化されやすい予算要望のためには、総合計画等に上がっておくことが必要である。

#### まとめ

予算編成の方針（スタンス）を理解し、限られた財政の中で市長の公約と大きく違くと実現が困難である。国や県の方向性も注視しておかなければならないが、市長に対し市長選挙の公約に入れ込むことができるような提案や実効性のある提案をするように心掛けたい。

これからの議員活動においては、予算化されやすい予算要望や実現可能な一般質問のために、職員とのコミュニケーションを図り、議員ならではの現場の情報や課題を職員との意見交換の機会を増やし、市民の声を共有し、理解し合える環境を作っていきたい。



# 財政の質問の

# ポイント

議員が知っておくべき財政の話

## 基礎編 1

# 財政の質問の

# ポイント

議員が知っておくべき財政の話

参考資料

参考様式

<u>支出内訳書の番号</u> 5	
研修報告書	
1 名称	森林・林業・林産業活性化九州大会
2 目的	林業の成長産業化に向けて、行政・林業界、2次・3次産 業界が協働しながら取り組むことの効果などを習得。
3 実施時期	平成29年10月26日
4 実施場所	大分市 ホルトホール
5 参加者	村松謙二、伊東洋子、田中英輔、古賀誠視、内場恭子
6 その他	報告書添付

平成 30 年 3 月 31 日

研修者 村松 謙二

## 研修会報告書

表題の件、以下のとおり報告します。

- 期間： 平成 29 年 10 月 26 日
- 出席議員：伊東洋子、田中英輔、古賀誠視、内場恭子ほか議員
- 研修会名：森林・林業・林産業活性化九州大会
- 研修会主催者：森林・林業活性化促進議員連盟九州連絡会議
- 開催場所：大分市金池南 1 丁目 5 - 1

ホルトホール大分 大ホール

### □研修会スケジュール

12 : 30 ~ 15 : 50 基調講演、報告、事例発表など

- 研修会の概要 別紙のとおり

## 【研修会説明要旨】

我が国の森林は、これまでの先人の努力等により、戦後造林されてきた人工林が本格的な利用期を迎えており、特に九州地域は温暖な気候のため、樹木の成長が早く全国に先駆け資源が充実している。

この豊富な森林資源を循環利用し、林業の成長産業化を実現することで、山村地域に雇用と所得を創出し、地方創生に貢献することが期待されている。

こうした中、近年では

○高性能林業機械の導入、路網の整備、労働力対策等による木材生産力の向上と大型の製材工場や合板工場の整備、公共建築物の木造・木質化の促進、木質バイオマスエネルギーの利用等による木材需要の拡大等を背景に、木材自給率は平成 14 年を底に上昇傾向で推移し、平成 28 年には、34.8%にまで回復するなど明るい兆しが見えてきた。

しかしながら、林家の所得や林業従事者の平均賃金は未だ低く、山村での過疎化・高齢化が進行する等、多くの課題が山積している。

結論：

今後、林業及び木材産業を安定的に発展させ、山村等における就業  
機会の創出と所得水準の上昇をもたらす産業へと転換する成長産業  
化を早期に実現することが極めて重要であり、そのために、国産材  
の安定供給体制の構築と新たな国産材需要の創出を実現することで  
国産材供給量の増大を図っていくことが必要である。

平成29年度

# 森林・林業・林産業活性化九州大会

日時

平成29年10月26日(木) 12:30～(開場12:00)

会場

ホテルホール大分 大ホール0F  
大分県大分市釜谷池南甲45-1 TEL:097-576-8877



森林・林業・林産業活性化九州大会事務局

〒870-0022 大分県大分市東3丁目1号1号1分県議会議事会事務局4階会議室  
TEL:097-506-3032 FAX:097-506-1785

主催 森林・林業活性化促進議員連盟九州連絡会議 大分県森林・林業活性化促進議員連盟  
後援 福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・大分県

# 森林・林業・林産業活性化九州大会

日程：平成29年10月26日（木）

場所：ホルトホール大分 大ホール

時間	分数	内容
12:00	30	開場
12:30	15	◎オープニングイベント 大分高等学校書道部による書道パフォーマンス
12:45	15	【舞台転換】
13:00	25	開会 ◎主催者挨拶 大分県森林・林業活性化促進議員連盟会長 井上 伸史 森林・林業活性化促進議員連盟九州連絡会議会長 柴立 鉄彦 ◎来賓挨拶 林野庁次長 牧元 幸司 大分県知事 広瀬 勝貞 国会議員 衛藤 征士郎（予定）
13:25	5	【舞台転換】
13:30	60	◎基調講演 一般財団法人日本経済研究所 専務理事 鍋山 徹 氏 「林業復活と地域創生」
14:30	10	【10分休憩】
14:40	40	◎報告 林野庁森林整備部治山課 課長 猪島 康浩 氏 「平成29年7月九州北部豪雨を踏まえた今後の治山対策について」
15:20	30	◎事例発表 佐伯広域森林組合 代表理事専務 伊原 誠一郎 氏 「佐伯型循環林業の取組みについて」
15:50	5	◎大会決議 大分県森林・林業活性化促進議員連盟副会長 玉田 輝義
15:55	5	◎閉会挨拶 長崎県森林・林業・林産業活性化促進議員連盟会長 中島 廣義
16:00		閉会



参考様式

<u>支出内訳書の番号 8</u>	
広聴報告書	
1 名称	「公共交通を考える会」
2 目的	西鉄バスの減便による古賀市公共交通の課題などを市民へ報告し、今後の古賀市公共交通のあり方などを市民と共に考える。
3 実施時期	平成29年4月22日
4 実施場所	古賀市社会福祉センター 千鳥苑
5 参加者	村松謙二、伊東洋子、田中英輔、古賀誠視、内場恭子、奴間健司
6 その他	報告書添付

平成 30 年 3 月 31 日

研修者 村松 謙二

## 研修会報告書

表題の件、以下のとおり報告します。

□期間： 平成 29 年 4 月 22 日

□出席議員：伊東洋子、田中英輔、古賀誠視、内場恭子

□研修会名：「公共交通を考える会」

□研修会主催者：議員有志

□開催場所：古賀市 古賀市社会福祉センター 千鳥苑 大広間

□研修会スケジュール

13：00～16：00 西鉄バス減便の報告、現状の課題を認識

市民アンケート結果報告、市民からの意見をヒヤリングなど

□研修会の概要 別紙のとおり

### 【研修会説明要旨】

平成 29 年度当初予算では「西鉄バスの減便」となった。

議会からの付帯決議や政策推進会議での提言を示し、新たな古賀市公共交通体系の構築について市民に意見や提案をうかがう機会を行った。

出席者は、県道近くの市街地から高速道近くの東部地域住民と幅広い年齢層から参加いただき、大変活発な意見を述べていただいた。

まとめ：

長年の課題である公共交通の問題を市民と共に共有することで、市民のニーズを聞き出し、改めて利便性の良い交通システムを期待しているのが分かりました。

今後、粘り強く行政に働きかけて、市民の期待に応えた古賀市公共交通体制の確立の実現に努力していきたい。

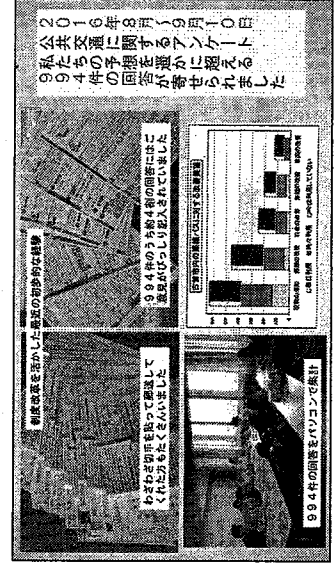
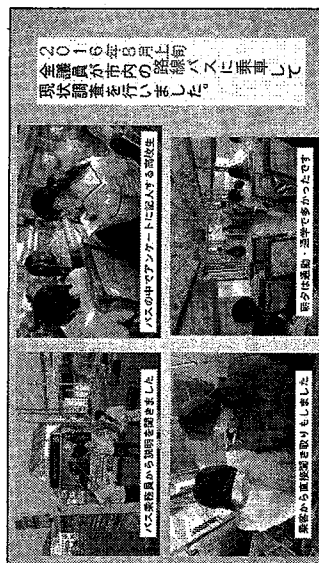
3、最終報告・提言に当たって

今回最終報告・提言するにあたり、その意欲と今後の考え方について述べる。

① 調査の取組結果を市民に報告する意義  
99.4件という多くの回答をいただいた。その期待の声にこたえたい。この「最終報告と提言」をもって市民の皆様への報告として説明責任をしっかりと果たすこととを目標とする。

② 調査として進められたこと、市民の意見や要望としていただいたこと  
今回の「最終報告と提言」を平成29年度の公共交通のあり方について報告することを目指す。さらに、調査の結果を平成30年度の古賀市の公共交通のあり方に関する報告書に反映させることを目指す。

③ 執行部に対し、市民、議員の意見を伝える意義  
平成29年度の公共交通のあり方について報告することを目指す。特に、利用者の声にこたえたい。この「最終報告と提言」を平成29年度の公共交通のあり方に関する報告書に反映させることを目指す。



平成29年3月2日

古賀市長 中村 隆象 様

古賀市議会 議長 結城 弘明  
副議長 田中 英輔  
古賀市議会政策推進会議 会長 田中 英輔  
副会長 清原 哲史

<<古賀市の公共交通体系の確立に向けての提言>>

古賀市議会基本条例に基づき設置された政策推進会議で「古賀市公共交通」について平成27年6月から平成29年2月まで現地調査、市民アンケート、議員、会派、職員グループから意見、構想を出し合い調査研究を行いました。古賀市の公共交通体系の確立に活かされるよう以下の意見をいたします。

- ① 在の西鉄路線バスの維持と発展は必要である  
現在年間26万人近い利用者があり、市民にとって日常の生活になくならない移動手段になっている。少子高齢化時代を迎え高齢者への公共交通は重要な役割を担っている。少子高齢化時代を迎え高齢者への公共交通は重要な役割を担っている。
  - ② 公共交通は福祉的かつ教育的観点で検討すべきである  
現在年間4,000万円余りの財源を求めているが、高齢者の外出促進、市民の健康増進、社会教育を享受する環境、古賀市の将来を担う子どもたちの教育を促せる環境など、安全で低廉な価格で利用できる利便性の高い交通環境が保証される必要がある。公共交通はそのような点から福祉的かつ教育的観点で検討されるべきである。
  - ③ 利用者の目的にあった改善を求める声を聴くべきである  
乗車調査やアンケート活動を通して、改善を求める強い声を聴取した。それはアンケートの回答や自由記述にも表れている。路線バスの運行は市民の要望、目的に合ったものが必要である。運行を優先するよりも利用者の利用目的も考慮した運行にできないか検討すべきである。利用者の声を聴き、そちらを反映した運行は、今は利用していない市民の利用促進にもつながる。市民とともに運営する路線バスとして改善を求める声を聴くべきである。市民からの意見、要望は料金よりもバスの便数や路線の改善を求める声が多い点が特徴のひとつであった。
  - ④ 廃止路線の復活や路線の見直しに取組む必要がある  
市は公共交通サービス圏をバス圏とバス停から半径500メートルとして公共交通の運行を行っている。市内には過去運行されていたバス路線が廃止されたり、市内バス路線以外のバス路線 からサービス圏とされているところ、公共交通サービス圏内でも運行便数が少ないなどの問題もある。交通圏という概念もあり、交通空白地の解消という点から路線網の充実までの復活や路線の見直しに取組む必要がある。
  - ⑤ その他  
補完的交通の手帳、地域サポート補助について、さらに検討すべきである。
- 以上、古賀市議会政策推進会議の「古賀市公共交通に関する調査研究」についての提言をいたします。調査研究にご協力いただきました市民の皆様、各団体の皆様、事業者の皆様、執行部・議員の皆様、心より感謝申し上げます。

### 西鉄4月ダイヤ改正

西鉄が古賀市の多くを走る古賀線内を走る路線バスを減便することを検討している。路線バスの増便要望が、市議会が不審を感ずる。3月定例会では西鉄の運行補助約5千万円を削減する。17年度一般競争入札を回したものの減便について「市民の意見を聞き、利用者の立場から」との返答が返ってきた。古賀市の高齢化が進む中、特に高齢者の足確保をどうするかが、市は懸念を覚えている。

①野村光



### 補助金支出認め苦言 「市民の声反映を」

バス減便の否をめぐり、市民の声を反映するべきと苦言を呈した。市議会は「利用者の声が多く、バスは高齢者の足確保に重要な役割を果たしている」として、減便に反対する。市議会は「利用者の声が多く、バスは高齢者の足確保に重要な役割を果たしている」として、減便に反対する。

### 高齢者の足確保へ模索

高齢者の足確保を模索する。市議会は「利用者の声が多く、バスは高齢者の足確保に重要な役割を果たしている」として、減便に反対する。市議会は「利用者の声が多く、バスは高齢者の足確保に重要な役割を果たしている」として、減便に反対する。

高齢者の足確保を模索する。市議会は「利用者の声が多く、バスは高齢者の足確保に重要な役割を果たしている」として、減便に反対する。市議会は「利用者の声が多く、バスは高齢者の足確保に重要な役割を果たしている」として、減便に反対する。



### 第14号議案 平成29年古賀市一般会計予算についてに対する決議

平成27年から政策推進会議において「公共交通」について、2年間にわたり、そのあり方について調査検討を重ね、3月9日に最終報告と提言を市長に渡した。

平成28年の夏にはバスの実車調査とアンケートを実施。994人の方々から切実な声が寄せられました。それにより、バスの増便や路線改善を求める声が多くなることがわかり、平成29年度予算で示された減便計画は、市民の望むものではなく、市民生活においてさちに不便を強いるものである。

高齢化が進み、高齢者による交通事故の多発、公共交通に頼り生活を維持する多くの市民のことを鑑み、スピード感をもって業務を遂行され、早急に市民の利便性の確保を願うものである。

そこで、市長に対し以下の点を実行されることを求める。

1. 古賀市議会議案推進会議が提出した、市内公共交通に関する提言は、福祉的、教育的視点のみならず、マイカーの利用を減らし、地域温暖化の原因である二酸化炭素の発生量の抑制にも通じるものである。未来に継承していくべき地域循環型社会の推進方策でもあり、最大限にこれを尊重し施策に誠実に反映されたい。
2. 平成29年第1回定例会が開催された2月27日後、3月8日に配布された資料要求により明らかとなった、平成28年度比7便の減便による利用者にもたらす影響を、平成29年度の早い時期に極力回避、もしくは代替する措置を講じること。
3. 7系統別基幹交通を補完する、市内全域における代替交通の運行等を願望する切実な市民の声に寄り添い、この施策の検討実現にスピード感をもって業務遂行、市民への事前周知には万全を期すること。

以上、決議する。

平成29年3月27日

古賀市議会





# 西鉄路線バス運行補助（赤字補てん）の根拠となる経費内訳

赤字補てん額は3733万1千円から4152万1千円に増額  
(419万円増)

人件費が3525万9千円から3675万7千円に増額  
(149万8千円増)

2015年度(平成27年度)決算

## ■ 路線バス運行補助

【①燃料油脂費、人件費など運送経費の明細、補助の内訳・内訳、補助額の積算根拠】

	基準額	実績額
運送経費	76,849,000 円	74,481,785 円
内訳		
運送人件費	35,259,000 円	35,259,000 円
燃料油脂費	11,240,000 円	8,872,785 円
車両費	1,944,000 円	1,944,000 円
その他管理費	28,406,000 円	28,406,000 円
燃料油脂費変動分	△2,367,215 円	- 円
運賃収入	37,151,000 円	36,953,436 円
収支	37,331,000 円	37,528,349 円

収支の実績額が基準額を上回っているため、基準額 37,331,000円を補助

2017年度(平成29年度)予算

## 【運行補助の積算内訳】

内訳	金額
運行経費見込み	77,462 千円
運送人件費	36,757 千円
燃料油脂費	8,873 千円
車両費	2,059 千円
その他管理費	29,773 千円
運賃収入見込み	35,941 千円
運行補助額	41,521 千円

その他管理費が2840万6千円から2977万3千円に  
増額(136万7千円増)

運賃収入は3695万3436円から3594万1千円の  
見込み(101万2千円の減収見込み)

【運行実績と前年度との比較、H23年度からの年度別利用者数、運行収入、運行経費、運行台数、運行距離】

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
利用者数	267,589人	267,781人	252,026人	250,405人	258,070人
青柳四角経由	99,157人	98,913人	92,460人	101,983人	103,000人
サンコスモ経由	8,657人	7,899人	5,477人	5,083人	7,399人
船内経由	15,433人	20,584人	20,112人	17,706人	21,351人
市役所経由	41,289人	40,448人	13,697人	14,788人	10,112人
花鳥経由	51,991人	55,070人	60,806人	48,456人	50,851人
東區センター	8,745人	6,952人	-	-	-
小竹系統	42,316人	37,905人	59,474人	62,989人	65,357人
運行収入	¥ 40,335,313	¥ 39,767,077	¥ 38,410,176	¥ 37,385,456	¥ 36,953,436
運行経費	¥ 69,985,714	¥ 75,251,697	¥ 74,918,456	¥ 73,907,136	¥ 74,481,785
運行経費（総計）	¥ 60,016,190	¥ 64,968,571	¥ 63,579,000	¥ 63,775,000	¥ 65,609,000
運送人件費			¥ 33,394,000	¥ 33,996,000	¥ 35,259,000
車両償却費			¥ 2,318,000	¥ 1,726,000	¥ 1,944,000
その他管理費			¥ 27,967,000	¥ 28,113,000	¥ 28,406,000
燃料費	¥ 9,969,524	¥ 10,283,126	¥ 11,239,456	¥ 10,132,136	¥ 8,872,785
延運行台数	1,830台	1,825台	1,825台	1,825台	1,830台
総走行距離	298,271km	331,274km	316,579km	316,579km	316,579km
計画運行便数	37,210便	39,995便	32,298便	32,298便	32,368便
青柳四角経由	11,468便	11,426便	11,418便	11,418便	11,444便
サンコスモ経由	976便	968便	964便	964便	964便
船内経由	2,928便	2,916便	2,913便	2,913便	2,919便
市役所経由	6,466便	6,447便	1,942便	1,942便	1,946便
花鳥経由	5,450便	5,467便	5,461便	5,461便	5,472便
東區センター	2,684便	2,674便	-	-	-
小竹系統	7,199便	10,097便	9,600便	9,600便	9,623便
補助金額	¥ 28,879,000	¥ 34,294,000	¥ 35,603,000	¥ 36,521,000	¥ 37,331,000

平成25年度は前年度比  
15755人の利用者の減

平成27年度は前年度比  
7665人の利用者の増

平成27年度は前年度比  
2368人の利用者の増  
(小竹系統)

平成25年度は前年度比  
7697便の減便

この5年間で利用者数は  
9519人の減

赤字補てん額は平成23年から平成27年度までの5  
年間で845万2千円の増額

⑤

※系統ごとの利用者数は概算です。  
※総走行距離については、営業キロで算出。便数は概算です。



■西鉄OD調査集計(平成28年度)

利用者が最も多いのは薦野と古賀駅を結ぶ系統

系統名	平日			土曜日			日祝日		
	利用者数 (人)	便数 (便)	一便平均 利用者数 (人)	利用者数 (人)	便数 (便)	一便平均 利用者数 (人)	利用者数 (人)	便数 (便)	一便平均 利用者数 (人)
薦野系統 青柳四ツ角経由	151	17	8.9	135	13	10.4	102	13	7.8
"	136	16	8.5	119	13	9.2	85	13	6.5
薦野系統 サンコスモ古賀経由	25	2	12.5	-	-	-	-	-	-
"	12	2	6.0	-	-	-	-	-	-
薦野系統 篠内経由	23	3	7.7	12	3	4.0	10	3	3.3
"	22	4	5.5	8	2	4.0	6	2	3.0
小竹系統	40	10	4.0	22	5	4.4	12	5	2.4
"	46	6	7.7	33	5	6.6	19	5	3.8
小竹系統 古賀駅東口経由	58	5	11.6	59	7	8.4	55	7	7.9
"	64	7	9.1	57	6	9.5	41	6	6.8
舞の里系統 市役所経由	11	2	5.5	11	2	5.5	2	2	1.0
"	24	4	6.0	5	2	2.5	2	2	1.0
舞の里系統 花見経由	85	8	10.6	27	5	5.4	22	5	4.4
"	59	6	9.8	30	5	6.0	25	5	5.0
薦野⇄舞の里(篠内経由)	18	1	18.0	-	-	-	-	-	-
"	10	1	10.0	12	1	12.0	11	1	11.0
薦野⇄舞の里(青柳経由)	3	1	3.0	-	-	-	-	-	-
合計	787	95	8.3	530	69	7.7	392	69	5.7

小竹系統の利用者数も多い  
今回の減便で小竹系統の利用者数の減が  
心配される

平日787人、土曜日530人、  
日祝日392人の利用実績